

# デیلیー・ジーザス・ニュース #171

## イエスは70人を宣教のために訓練する ルカ10章4-9節

4 「私はあなたに命じる 財布や袋やサンダルを持って行かないように。また道でだれにも挨拶しないように。

5 「家に入るときは、まず『この家に平和がありますように』と言いなさい。6 もしそこに平和に暮らす人がいれば、あなたの平和はその人のところにとどまります。そうでなければ、それはあなたのところに戻ってきます。

7 わたしはあなたたちに命じる。そこに留まり、彼らと与えるものを何でも食べ、飲むのだ。働く者はその賃金を受けるに値するからだ。家から家へと渡り歩いてはならない。

8 「町に入って歓迎されたら、出されたものを食べなさい。

9 私は命じます。そこにいる病人たちを癒し、こう言いなさい。『神の国はあなたたちの近くに来ています。』」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレム近郊
タイムライン	9月 ( 31月 )
イエスの生涯の文脈	第六段階: イエスの後期ユダヤ教宣教
	C. イエスは70人を訓練し、宣教に派遣される
タイトル	2. イエスは70人を宣教のために訓練する

コメント:

イエスが70人に対して行った訓練は、12人を派遣する前にイエスが彼らに与えたものと、短縮された形で全く同じものでした ( マタイ10章 )。

## デイリー・ジーザス・ニュース #171

主は奉仕の原則を一貫して守られました。

ギリシャ語から、70人は十二使徒とは異なっていたことがわかります。つまり、70人には使徒は含まれていませんでした。彼らの具体的な奉仕、すなわち癒し、神の国の近づきを告げ知らせ、そしてイエスの到来に備えて各町や村を準備することは、ガリラヤにおける十二使徒の以前の使命と同じでしたが、70人は十二使徒のようにイエスの宣教活動全体を目撃する特別な権威や、教会における長期的な役割を持っていませんでした。

70人は2人ずつ35組に分かれていました。そのため、ユダヤとペレアのすべての町や村を巡回するために、各組は1つか2つの場所を訪れたと考えられます。

イエスは、広大な地域に及ぶ、これほど大規模で組織的な伝道活動を行うために、70人の宣教団の活動に深い思慮と準備を費やされました。それぞれのチームの宣教期間は、イエスから与えられたそれぞれの任務の場所によって異なり、2週間から3週間でした。

70人を遣わしたことは、イエスがガリラヤで大勢の忠実な弟子たちと広範囲にわたる弟子訓練を行っていたことを示しています。

十二使徒と70人を合わせると、訓練を受けた弟子は82人になりました。さらに、弟子たちと共に旅をする女性のグループもありました。イエスは70人を男性弟子の大きなグループから選んだので、イエスの周りには他に20人以上の弟子がいたはずです。

全部合わせると、後期ユダヤおよびペレアでの宣教活動でイエスと共に「旅」した6か月間、フルタイムの弟子としてイエスに同行した最も親しく忠実な信奉者が少なくとも120人いたようです。

これらの中心弟子たちは、受難週のためにイエスに同行してエルサレムに入り、イエスの復活を目撃し、ペンテコステの日に聖霊を受けた120人を構成しました。こうして彼らはエルサレム教会の中核を成しました。

これは、十二使徒、70人、女性、そして120人を構成する他の名前の知られていない男性弟子たちが、イエスの教会計画と、世界における弟子育成の使命においていかに重要であったかを示しています。彼らは、イエスが全世界に広がると期待していた御国の、小さな「からし種」でした。

応用：

イエスは、ごく普通の人々を召し、宣教に用いることを選ばれました。それは、イエスの恵み、賜物、そして力によるものでした。イエスは、御霊と御言葉の力によって、わずか120人の弟子たちと共に世界をひっくり返されました。

彼が奉仕に求めた唯一の基準は、謙遜さ、信仰、そして忠実さでした。これらの特質は私たち皆が身につけることができます。

あなたはイエスが意図したとおりに聖霊の力に満ちていますか？

## デイリー・ジーザス・ニュース #171

信仰と謙遜と忠実さは、宣教において主に用いられたいというあなたの意欲を特徴づけていますか。

イエスにもっと効果的に仕えるためには、イエスとの関係のどの分野に取り組む必要がありますか。